

和歌山県医務課

和歌山県子ども救急相談ダイヤル #8000

令和4年度実績

■ 事業概要

夜間・休日に子供が急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

■ 相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

■ 電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

■ 補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

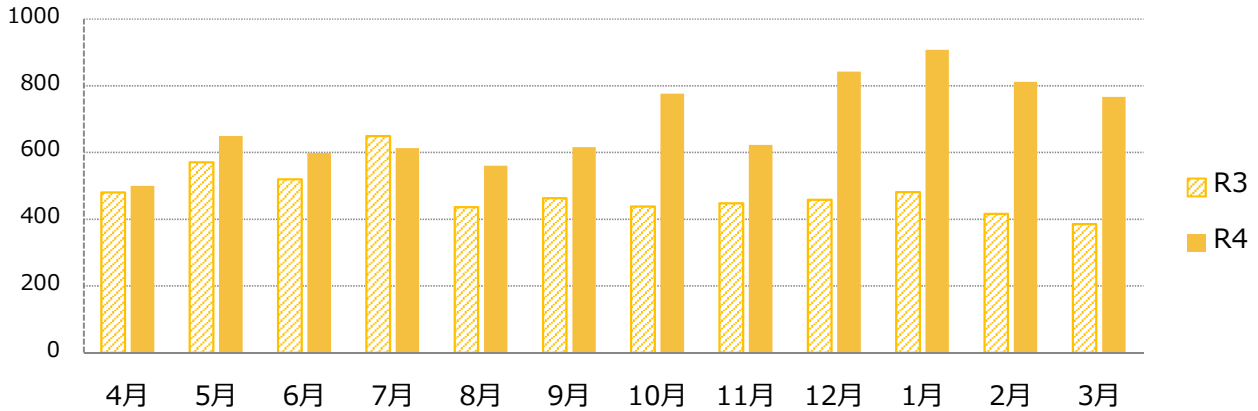
TEL:073-426-1199（いい救急）

1 相談件数

令和4年度は、累計8,262件の相談がありました。

7月以外は昨年度に比べ利用が多く、例年相談の多い冬期においては特に利用件数の増加が見られました。

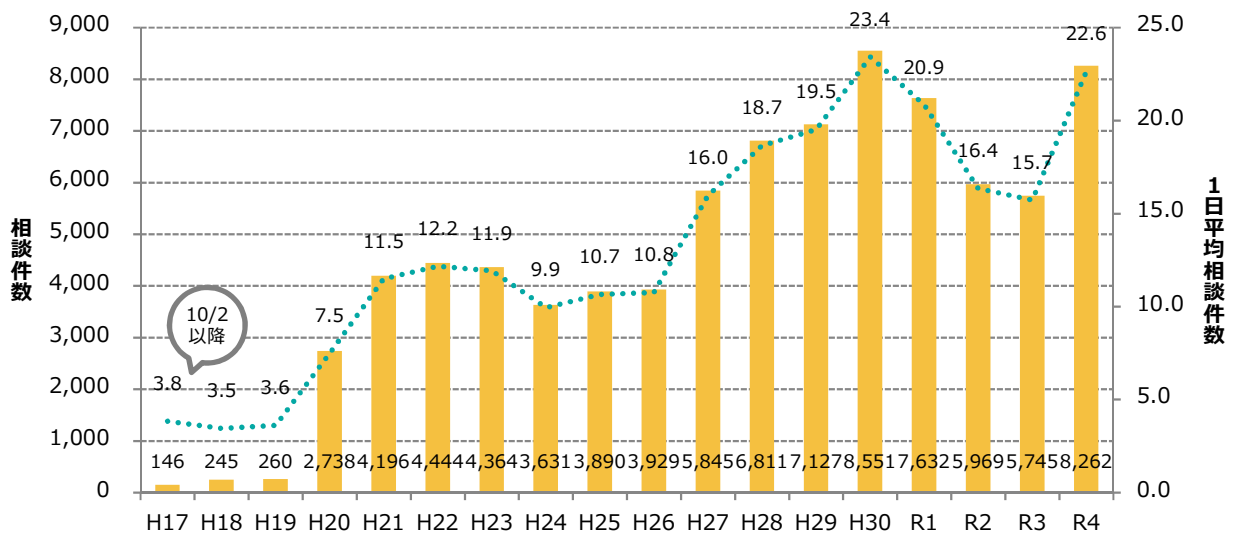
令和4年度累計	8,262件
---------	--------



2 相談件数の推移

新型コロナウイルスの流行による予防意識の高まりから、相談件数は減少傾向にありましたが、流行前の件数に戻り始めています。

新型コロナウイルスの重症化率が下がったことにより、外出が増えたことなどが利用件数の増に影響していると考えられます。



相談実施日
日祝・年末年始：19時～23時

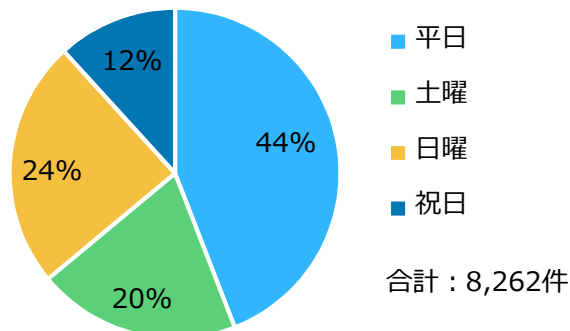
H20～相談日拡大
毎日：19時～23時

H27～時間拡大
平日：19時～23時
土日祝・年末年始：9時～23時

H30～時間拡大
平日：19時～翌9時
土日祝・年末年始：9時～翌9時

3 曜日別の相談比率

土日祝日の相談が5割以上を占め、ニーズが高い傾向にあります。



4 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の約3割を占めています。

平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）と従来から実施していた時間帯の利用割合は昨年度と同様ですが、利用件数は昨年度より増加しています。

令和4年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	380	4.6%	23時～1時	559	6.8%
11時～13時	355	4.3%	1時～3時	457	5.5%
13時～15時	505	6.1%	3時～5時	301	3.6%
15時～17時	531	6.4%	5時～7時	247	3.0%
17時～19時	807	9.8%	7時～9時	486	5.9%
19時～21時	2,214	26.8%			
21時～23時	1,420	17.2%			
小計	6,212	75.2%	小計	2,050	24.8%
①・②の合計：8,262件					

(参考) 令和3年度

①の小計	4,355	75.1%	②の小計	1,441	24.9%
①・②の合計：5,796件					

5 相談時間別の比率

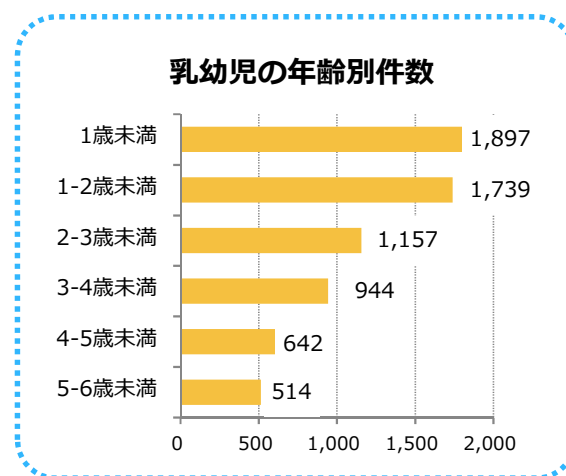
1回あたりの相談時間は、93.7%が「10分未満」です。
中でも「5～10分未満」が半数以上を占めています。

相談時間	件数	割合
0～5分未満	3,577	43.3%
5～10分未満	4,162	50.4%
10～15分未満	464	5.6%
15～20分未満	51	0.6%
20分以上	8	0.1%
合計	8,262	

6 相談対象者の年齢構成

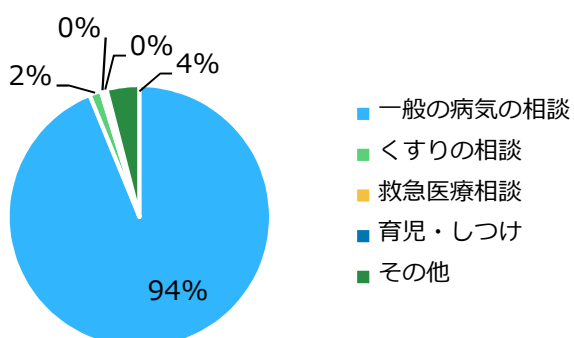
相談対象者の8割以上は6歳未満の乳幼児です。
とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
0～6歳未満	6,893	83.4%
6～12歳未満	1,193	14.4%
12～15歳未満	154	1.9%
その他	22	0.3%
合計	8,262	



7 項目別の相談内容

一般の病気の相談が9割以上を占めています。また、その他のうち97%(全体の3.9%)が医療機関案内でした。



8 症状別の相談内容

発熱による相談が2,767件（33.5%）と最も多くなりました。続いて嘔吐838件（10.1%）、頭部打撲779件（9.4%）となりました。

症状	件数	割合
発熱	2,767	33.5%
嘔吐	838	10.1%
頭部打撲	779	9.4%
けが・打撲	657	8.0%
誤飲誤植	451	5.5%
じんま疹	436	5.3%
耳鼻科関連	351	4.2%
咳	320	3.9%

症状	件数	割合
腹痛	247	3.0%
咳嗽・喘鳴	165	2.0%
眼科関連	151	1.8%
下痢	121	1.5%
痙攣	102	1.2%
予防接種	15	0.2%
その他	862	10.4%
合計(※)	8,262	

9 対応内容

全体の約7割が、一般的な保健指導と判断される相談でした。

対応	件数	割合
119番をすすめた	34	0.4%
すぐに医療機関をすすめた	1,643	19.9%
翌日の医療機関をすすめた	887	10.7%
一般的な保健指導・育児相談	5,556	67.2%
その他	142	1.7%
合計	8,262	

10 相談者の居住地別の利用状況

和歌山エリア（和歌山市、海南市、紀美野町）からのご利用が半数以上を占めています。

一方、紀南地方での利用が比較的少なく、地域によってニーズの差があると考えられます。

